



健康寿命延伸都市・松本

平成22年度教育民生委員会テーマ調査研究

公立病院のあり方・運営等 に関する提言書

松本市議会

目 次

1	はじめに	P 1
2	調査研究の経過	P 2
3	調査研究の内容	P 3
4	調査研究のまとめ（提言内容）	P 5
5	おわりに	P 7
	委員名簿	P 8

[添付資料]

別紙 1	委員会の意見	P 11
別紙 2	調査研究テーマ案一覧	P 13

[主な会議資料]

別紙 3	平成22年 7月13日開催分	P 17
別紙 4	10月15日 //	P 21
別紙 5	11月 9日 //	P 31

1 はじめに

近年、全国の公立病院では、経営状況の悪化や医師不足に伴う診療体制の縮小によって病院経営や医療提供体制の維持が難しい状況となっています。このため、国は、公立病院改革ガイドラインを策定し、経営の効率化、病院連携の再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの3つの視点に立った改革を推進することとしています。

波田総合病院は、松本二次保健医療圏の基幹病院として松本西部の地域医療を担っており、平成17年度からは地方公営企業法の全部適用を導入するとともに、平成21年には、国のガイドラインに基づく「波田総合病院改革プラン ～経営健全化計画～」を策定し、健全な病院運営を行っています。

松本市は、平成22年3月の波田町との合併により、波田総合病院を市立病院として引き継いでいます。病院の取扱いについては、合併協定事項に基づき、合併後に病院のあり方を検討することとしており、同年6月に「波田総合病院あり方検討委員会（以下、「検討委員会」という。）」を設置しました。

[合併協定事項]

<波田総合病院の取扱いについて>

合併後、松本西部地域の地域医療を確保する基幹病院としての役割を十分に考慮し、次の事項に主眼を置き、波田総合病院のあり方を検討し、基本方針を策定する。

- (1) 松本保健医療圏において、波田総合病院が担うべき役割・機能の検討
- (2) 多様な経営形態の検討

検討委員会は、次の3項目について検討し、市長に対して提言書を提出しました。市長は、検討委員会の提言を踏まえ、波田総合病院のあり方について基本方針を策定することとしています。

[検討委員会の検討事項]

- (1) 波田総合病院の現状、同病院を取り巻く環境、将来の社会環境の変化等を踏まえて、波田総合病院の担うべき役割・機能を検討する。
- (2) その役割・機能を担う病院として、ふさわしい経営形態を検討する。
- (3) その他関連する事項を検討する。

松本市議会は、合併時に市民の関心が高かった波田総合病院の運営状況等をはじめ、近年の医療分野の現状や松本地域における公立病院の役割・機能等に関する教育民生委員会の調査研究結果をもとに、公立病院の今後のあり方・運営等について提言するものです。

2 調査研究の経過

平成22年 5月19日	調査研究のテーマ案を委員から募集
6月13日	波田総合病院あり方検討委員会（設置、第1回）
18日	調査研究テーマを決定
7月13日	調査研究の進め方を協議
25日	波田総合病院あり方検討委員会（第2回）
26日	調査研究テーマを調査研究
8月4日～6日	三重県桑名市民病院、兵庫県芦屋市立病院を視察
18日	調査研究テーマを調査研究
29日	波田総合病院あり方検討委員会（第3回）
9月16日	調査研究テーマを調査研究
26日	波田総合病院あり方検討委員会（第4回）
10月15日	調査研究テーマを調査研究
24日	波田総合病院あり方検討委員会（第5回）
11月9日	調査研究テーマを調査研究

21日	波田総合病院あり方検討委員会（第6回）
1月13日	調査研究テーマを調査研究
30日	波田総合病院あり方検討委員会（第7回）
2月9日	調査研究テーマを調査研究
21日	調査研究テーマを調査研究

3 調査研究の内容

(1) 公立病院の役割・機能に関する調査

教育民生委員会は、公立病院の役割、機能に関する国、県の考え方等を調査しました。

長野県は、国のガイドライン策定を受け、平成22年3月に公立病院改革に関する基本的な考え方をまとめました。その中では、公立病院の果たす役割を、地域の基幹的医療機関としての4疾病・5事業等の医療提供、採算面で民間医療機関が提供困難なへき地医療、救急医療、高度・先進医療等の提供及び予防医療や在宅医療の推進等をあげています。

波田総合病院については、松本保健医療圏西部地域における急性期医療の提供、住民の健康づくり支援及び二次救急医療の提供とともに、糖尿病の急性期・慢性期治療機能及び高度周産期医療や小児医療連携機能を有する病院と位置付けられ、今後も4疾病・5事業の急性期・高度、専門医療の提供、二次保健医療圏内の病病連携及び他の病院等への医師派遣・研修等支援の推進等が期待されています。

[4疾病・5事業]

4疾病	がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病
5事業	救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療

(2) 波田総合病院あり方検討委員会について

検討委員会は、平成23年2月27日までに8回の会議があり、3つの検討事項について論議され、論点が整理されています。

当委員会の調査研究で参考にした資料、情報は、検討委員会の会議資料や委員の意見、論議の内容です。会議の状況は、検討委員会を傍聴した委員から会議資料や会議録等について説明を受け、病院に関する専門用語や専門知識等を理解しながら、検討委員会の論点整理資料や会議録等を調査し、検討委員会の議論の内容と方向性を注視しました。

(3) 病院会計に関する調査

波田総合病院の今後の経営のあり方を考えていくうえで重要となる病院会計の現状について調査するため、平成10年度から平成21年度までの波田総合病院の決算と国が定める病院会計準則を適用した場合の波田総合病院の決算（試算）との違い、一般会計から病院事業会計へ繰り出される負担金（繰出金）の仕組み等、公立病院独特の会計システムについて調査をしました。

その結果、病院会計準則を適用した場合、波田総合病院の決算は、大幅に改善されることが判明しました。

[病院会計準則]

病院会計において、統一的な財務諸表を作成するための会計基準

国が制定したもので、標準的な勘定科目を設定し、公立・民間病院間又は他企業との経営を比較して経営診断に役立てるもの（準則の適用は強制されない）

(4) 他自治体の調査

教育民生委員会は、8月に他自治体の公立病院の運営状況や今後の運営方針等について調査をしました。

全国では、公立病院のあり方について経営的な問題を抱えている事例が多く見られます。委員会は、病院を運営する自治体にとって、最も重要かつ困難な課題とされる経営形態の見直しについて調査するため、市の直営

事業から地方独立行政法人化し、経営形態を変更した「桑名市民病院(三重県)」と、地方公営企業法の全部適用を導入して経営再建を行っている「芦屋市立病院(兵庫県)」を視察調査しました。

4 調査研究のまとめ(提言内容)

公立病院のあり方・運営等について、教育民生委員会の意見をまとめましたので、次のとおり提言するものです。

[提言内容]

(1) 公立病院（波田総合病院）の役割・機能

波田総合病院は、松本西部地域の基幹的病院として急性期医療や高度医療等を担う一方で、地域住民が気軽にかかれる病院の役割を有しています。同病院が果たしている主な役割・機能は、次の4点であり、これらの役割・機能は、引き続き、波田総合病院が担っていくことが必要と考えます。

- ア 急性期医療の患者を、いつでも受け入れる体制をとっていること
- イ へき地医療として奈川・安曇地区への医療支援をしていること
- ウ 周産期医療（産科・小児科）の診療体制が充実していること
- エ 在宅医療として訪問看護等の充実に取り組んでいること

今後も、疾病予防から在宅医療まで幅広い医療分野において、地域住民のニーズに対応した病院運営を期待するものです。

(2) 波田総合病院の運営の充実

現行の地方公営企業法の全部適用による病院運営は、職員の人事面、病院事業の企画・立案面、病院の経営面等の自由度の限界や公立病院の課題とされる職員定数による採用面の拘束はありますが、反面、医師、看護師等の職員は公務員としての身分保障により安定かつ集中して医療に取り組める体制が確保されています。

現行の地方公営企業法の全部適用による波田総合病院の運営については、今後も長所、短所それぞれを見極め、さらに充実を図ることが必要と考えます。

(3) 波田総合病院の経営形態の研究

波田総合病院の注目すべき点は、多くの公立病院が赤字経営で苦慮している中、黒字経営を維持していることです。平成18年度以降、単年度黒字経営を維持している現在の波田総合病院の経営状況は良好であり、現時点においては、経営形態を変更する必要性は認められません。

しかし、今後の病院を取り巻くさまざまな環境の変化を見据え、引き続き、最適な経営形態等について研究していく必要があると考えます。

(4) 波田総合病院の勤務環境の整備

波田総合病院が黒字経営を維持しつつ地域に親しまれている要因は、医師、看護師をはじめ職員全体が地域医療の重要性に対する認識を深く持つて病院経営の改善に取り組んでいるところです。

病院経営を充実させるためには、財政面の経営改善だけではなく、診療体制の充実とともに、職員のモチベーションの維持・向上につながる勤務環境の整備が必要と考えます。

(5) 病院施設整備の研究

将来的な施設老朽化対策として、医療機器の充実や診療科目の見直しとともに、病院の建替え、改築等の施設整備については、長期的展望を視野に、早い段階から研究していく必要があると考えます。

(6) 病院運営状況の情報公開

市民の関心を集めている波田総合病院の運営状況等については、専門的知見等を活用した監査機能をさらに充実させ、より一層の情報公開に努める必要があると考えます。

5 おわりに

松本市議会は、教育民生委員会の調査研究によって波田総合病院の現状を理解するとともに、公立病院の運営の難しさを認識しました。

公立病院として提供しなければならない政策的な医療機能を確保しつつも、不採算医療分野を含めた病院経営の効率化を図ることが公立病院に求められており、健全な病院運営を行うためには、安定した経営基盤の維持と不断の経営改革が必要です。

今後も地域医療を大切にする波田総合病院の特色を十分に活かし、松本保健医療圏43万人への医療提供を担う基幹的病院のひとつとして、地域住民に愛され、選ばれる病院となるよう、優秀な人材の確保、医療機器の充実及び施設の整備等に取り組み、さらに患者のニーズに対応した医療が提供できる体制の充実を望むものです。